

☆THE マスク職人

コロナ禍で自粛生活中、母のマスク作りのお手伝いをしてくれました。母の小学生時代からの糸切りバサミは切れ味が悪かったため、イライラ状態だった娘っ子。でも何とかコツをつかんで頑張ってくれました。ありがとうね(^^)/
ペンネーム：金のカメレオン



ほやねさんフォトエッセイ募集

新型コロナウイルスに負けない我が家のアイデアや、思わず癒される、元気をもらえる…。そんな写真にタイトル・エピソード・ペンネーム・連絡先を添えて、直接または郵送、Eメールでまちづくり推進課へご提出ください。

■郵送先 〒509-5192 (住所不要)

■Eメール ✉machisui@city.toki.lg.jp

※写真を投稿いただく際には、肖像権等、プライバシーには十分に配慮してください。
※応募作品が多数の場合は、選考の上掲載します。作品は返却しません。

問 まちづくり推進課 (内線313)

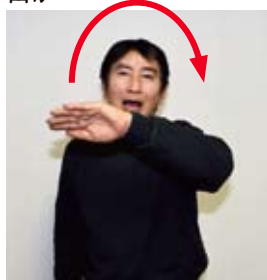
ようこそ手話の世界へ

福祉課 (内線217)



かんたん手話講座 手話で話そう！

山が



矢印の様に動かし山の形を表す

きれいですね



右手を水平に横移動

手話サークルの活動

土岐市で活動している「土岐手話サークル竹の子」は、昭和49年に設立されました。創立当時は、絵を描くことが得意なろう者がイラストを担当して、教材も手作りでした。言語を習得するには教科書から学ぶことより、実践やその言語を使う人との交流が何よりも近道と言われます。手話についても同様で、手話サークルでは毎週(木曜夜と金曜昼)の学習会以外に年に3回交流会(4月花見会、8月食事会、12月クリスマス会)を開催しています。

特にクリスマス会では、多くのろう者が参加し、楽しい時間を過ごしており、クリスマス会の様子をユーチューブでも配信しています。楽曲に合わせて参加者が演じる「手話演劇」の動画がおすすめです。「土岐手話サークル竹の子」でぜひ検索してみてください。楽しく学ぶことが、継続に繋がることだと感じています。ただけることでしよう。今年にはコロナ禍での新しい生活様式でのクリスマス会を模索中です。サークルに興味のある方は、ぜひ福祉課までご連絡下さい。